

訪問診療密着の写真家 講演

命の尊さ見つけて

東近江市山上町の山上小で12日、児童と保護者が一緒に命の尊さを学ぶ講演会があった。同小近くにある永源寺診療所の訪問診療に密着している写真家の國森康弘さん(38) 〓大津市〓が、同地区で進む在宅看取りの様子を撮った写真をスクリーンで紹介しながら話し、児童たちが家族のつながりについて学んだ。

東近江の山上小、親子で参加

同小PTAが「命がかげがえのない存在だと子どもたちに学んでほしい」と企画し、全校児童198人と保護者約80人が参加した。

ソマリアなど紛争地の取材経験を持つ國森さんは、路上での病死など

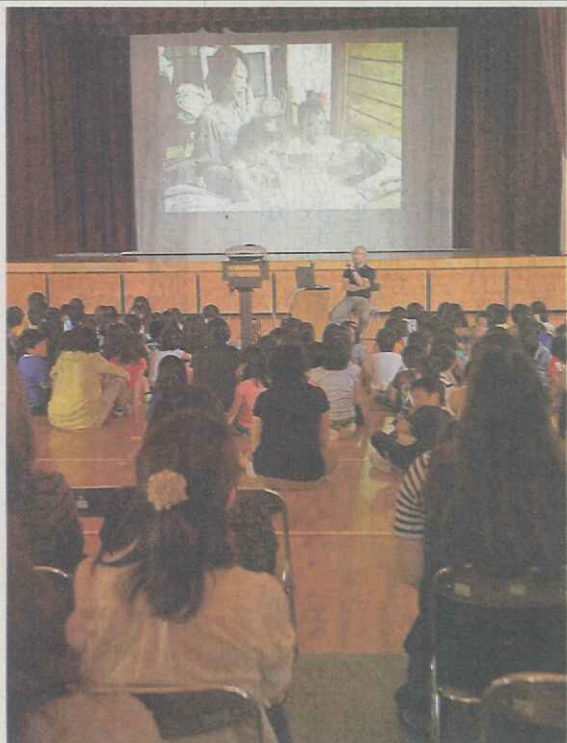
が絶えない現地の様子を説明した。続いて、3年前から継続的に取材してきた永源寺の在宅医療の取り組みを紹介。高齢女性に住み慣れた自宅で家族に囲まれて最期を迎えた瞬間や、曾祖母の死

と向き合う少女の姿の

写真を見せ、「紛争地では悲しい死が多かったが、この永源寺ですごく温かい命のつなぎ方を教えてもらった」と語った。

子どもたちは、身近な知り合いの家族の姿が写し出されることもあり、スクリーンを食い入るように見つめていた。

(川辺晋矢)



地元、永源寺地区で「看取り」を撮った写真を通じて命の大切さを学ぶ児童と保護者
(東近江市・山上小)

スクリーンで紹介 看取りの様子学ぶ